



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

2023-2024 年度

会 報

会員増強、親睦



2023. 11. 15 第1478回 例会 No. 36-14 2023. 11. 29 発行

【司会】 SAA・親睦委員会 大槻 一夫

◎開会点鐘 会長 福岡 均

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 福岡 均

地区ロータリー財団委員会 補助金委員・あまの けいた
地区ロータリーアクト幹事 天野 景太 様
東京八王子北ロータリークラブ すずき ひでお 鈴木 秀男 様

◎会務報告 会長 福岡 均

11月9日地区のグループ協議会に出席してきました。
ガバナー補佐の件で、来年度は調布むらさきさんの渡邊さんが、その次がiシティーさんでお引き受け頂けることとなりました。その次については、次年度に協議することとなりました。

◎幹事報告 幹事 三田 みよ子

配布物・会報第1477回、回覧物、・クリスマス例会 出欠表、・スクラッチゴルフ大会参加申込書、・世界大会参加申込書、・ハイライトよねやま ※他クラブ例会変更は事務局までお問い合わせください。

【 委員会報告・その他 】

◎指名委員会 指名委員会委員長峯岸忠代理 三田幹事

2025-26年度の会長エレクトを指名委員会において慎重に考慮し、2024-25年度の会長を除く役員・理事について、次年度会長からの推薦を受けて次のとおり指名する。
副会長候補 杉山真一 会員 幹事候補 林田敏誠 会員
会計候補 馬場賢太郎 会員 SAA 親睦候補 峯岸忠 会員
理事候補 小泉博 会員 会長エレクト 未定

会長エレクト指名については、福岡年度の理事会に対して、29日夜例会にてクラブ協議会の開催依頼をしました。みなさま是非ともご参加ください。

◎出席報告 出席奨励委員会 伊澤 ケイ子

会員総数 21名 出席義務免除者 5名

出席者数 出席義務者 8名 出席免除者 3名

計 11名 出席率 11/21 61.11%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 足立 潤三郎

福岡 均 天野景田様、鈴木秀男様 ようこそ

いらっしゃいました

三田みよ子 お客様ようこそ

卓話宜しくお願い致します。

大槻 一夫 お客様ようこそいらっしゃいました

長女が司法試験に合格しました

森本 由美 天野さま、本日の卓話は会員の皆さまが楽しみにしています

どうぞよろしくお願い致します。

守田 亨 天野様、鈴木様 ようこそお越しくださいました

杉山 真一 天野様 卓話宜しくお願い致します

伊澤ケイ子 天野様卓話よろしくお願ひいたします

鈴木様ようこそ！

菊池 敏 お客様卓話宜しくお願ひ致します

入沢 修自 寒いですね 天野様、森本会員本日も宜しくおねがいします 鈴木さんお久しぶりです

足立潤三郎 天野様卓話宜しくお願ひいたします

鈴木様ようこそいらっしゃいました

本日の合計 ￥16,000 (累計285,400円)

◎卓話者紹介 プログラム委員会委員長 入沢 修自

◎卓話 ・ロータリー財団について

ロータリー財団・補助金委員会 森本 由美 委員



本日天野様に起こし頂けたこと大変喜んでおりました、みなさまZ世代ということをお聞きになったことがあると思います。ネットの時代を過ごされて、時間管理・俊敏性・行動

力があります。そういった方のプレゼンテーションや考え方について、エッセンスを頂きたいと思いお招きしました。簡単にロータリー財団のことについてお話しします。ロータリー財産管理委員長バーリー・ラシンは、インパクトをうみだし既成概念にとらわれず、イノベーションを受け入れ、将来に私たちの支援活動を拡大するため、財団について大胆に考えを巡らせることをお願いします、と強くおっしゃられています。これまでの考え方に囚われないようにと強調されています。歴史的には1950年デトロイト国際大会において「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」と「超我の奉仕」という二つの標語が承認されて、1989年規定審議会では「超我の奉仕」が第一標語として採択されています。

創業者でありますポール・ハリスさんは、ロータリーとは何であるかについて、いろんな国のロータリアンに聞いてみても同じ答えが一つもない、共通点は何かと尋ねられて、それは一つあります、それは何だと思われますか？（奉仕か？情熱か？）それは「善意、善意、善意」。ロータリーはシカゴで弁護士をしていたハリスが世界初のロータリークラブを1905年2月23日に創立されました。2月23日は現在の天皇陛下の誕生日です。様々な分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情をつちかうことができる場をつくるのが、ハリスの夢ということになっています。

ロータリー財団委員会の中に補助金委員会があります。そのなかで人道支援ということが今回のお話です。

・R財団と「ウクライナ避難民支援PJ」現地報告

サブタイトル：ウクライナ避難民支援

ー現地の避難民の方々との交流などー

地区ロータリー財団委員会 補助金委員・

地区ローターアクト幹事 天野 景太 様

自己紹介から。96年愛知県生まれ。今26で27になる歳です。中学くらいからスマホがあった世代です。東京銀座ローターアクトクラブ所属。職業はIT関連です。

財団には主に3つプログラムがありまして、ポリオプラス、ロータリー平和センター、補助金です。ポリオプラスプログラムについては宮崎ガバナーが今年、より多くの人にポリオプラスプログラムを知ってもらうということで、ロードバイクでの日本横断チャレンジをされました。その時の動画をご覧ください。

補助金プログラムが今回のウクライナ避難民支援に関わります。ロータリー会員の皆様から寄付が3年間投資運用されて利回りが出るようになっています。みなさまからの寄付がどこか中間的な団体に流れることなく、寄付額以上のものが世の中のために使われています。

地区で使うことが出来る予算を使い切らず本部に返す、どうしようかという話があり、ウクライナ避難民支援をしている若者と恵比寿のバーで話していたところ、その彼が現地に行く予定があるということで、急遽、その場のりで、今回の支援がスタートしました。現地に行くならいろんな物資を持ち込めます。プロジェクトの概要動画ありますのでご覧ください。

ウクライナ国内及びポーランド国内にいる避難民が今回の支援対象です。財団より300万円（現地レート）で支

出し、海外の協力団体とともに、現地のニーズを調査して、本当に必要なのは何かを検討のうえ調達しました。携

帯用の充電機は、ウクライナ東南部、国境付近においてはとにかく充電が難しいとのことで、乾電池で駆動するモバイル充電器を配布しました。ポーランド国内においては毛布、シーツ、タオル類、避難生活が長く続く子ども達に対しては、日本を知ってもらう趣旨から、ぬいぐるみ（ピカチュウ）を買って持っていきました。

財団自身がこういった活動をするのは難しいためローターアクト側で実行委員会を立ち上げて、その補佐を私がさせて頂きました。協力団体は日本国内の団体、この団体は戦争が始まって3月頃から日本への避難民の受け入れを支援していました。今でも20名ほどの避難民をサポートしています。ポーランド国内の団体は、ウクライナ支援のための倉庫を提供していて、その一角を我々ロータリーのためにお貸し頂きました。詳しくは財団のホームページご参照ください。

この活動は1回だけの活動のように見えますが、ゆっくりと信頼関係をつくったからこそできた活動だと自負しています。東京西ローターアクトクラブ主催で飴細工体験など避難民の方に楽しんでもらったりもしました。

◎お礼と閉会点鐘 会長 福岡 均



（今週の担当 入沢 修自）

※ 11月20日、京王プラザホテル新宿で行われた東京調布ロータリークラブの創立60周年式典に、福岡会長・三田幹事・森本会員・入沢会員で行ってまいりました。大変盛大な式典でした。

